

令和4年度和歌山支部事業実施状況について



令和4年度和歌山支部 K P I 結果

| 担当 | 事業計画 | KPI | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 | 協会全体の達成度 |
|------|----------------------------------|--|----------|----------------|-----|----------|----------|
| 業務 | 1・ 基盤的 保 | サービススタンダードの達成状況 | 100% | 100% | ○ | 100% | △ |
| | | 現金給付等の申請に係る郵送化率 | 95.5%以上 | 92.2% | × | 96%以上 | ○ |
| | | 柔道整復施術療養費の申請に占める、3部位以上、かつ月15日以上施術申請の割合 | 0.96%以下 | 0.93% | ○ | 0.93%以下 | ○ |
| | | 被扶養者資格の確認対象事業所からの提出率 | 93.4%以上 | 94.4% | ○ | 94.0%以上 | △ |
| レセプト | 険者 機能 関係 | 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率 | 0.407%以上 | 0.390% | × | 0.390%以上 | ○ |
| | | 再審査レセプト1件当たりの査定額 | 7,215円以上 | 6,960円 | × | 6,960円以上 | ○ |
| | | 年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率 | 87.45%以上 | 90.39% | ○ | 90.39%以上 | ○ |
| | | 返納金債権（資格喪失後受診に限る。）の回収率 | 57.89%以上 | 49.23% | × | 49.23%以上 | × |
| 保健 | 2・ 戦略的 保 険者 機能 関係 | 生活習慣病予防健診受診率 | 58.4%以上 | 52.2% | × | 61.3%以上 | × |
| | | 事業者健診データ取得率 | 12.9%以上 | 14.9% | ○ | 14.0%以上 | ○ |
| | | 被扶養者の特定健診受診率 | 31.0%以上 | 25.2% | × | 31.0%以上 | × |
| | | 被保険者の特定保健指導の実施率 | 30.2%以上 | 17.6% | × | 38.0%以上 | × |
| | | 被扶養者の特定保健指導の実施率 | 31.1%以上 | 32.4% | ○ | 33.8%以上 | ○ |
| | | 受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合 | 12.4%以上 | 10.3% | × | 13.1%以上 | × |
| 企画総務 | 3・ 組織 | 健康宣言事業所数 | 760事業所以上 | 748事業所 | × | 860事業所以上 | ○ |
| | | 全被保険者数に占める健保委員委嘱事業所の被保険者数の割合 | 61.6%以上 | 62.69% | ○ | 62.7%以上 | ○ |
| | | ジェネリック医薬品使用割合 | 78.5%以上 | 78.3% (R5.1現在) | × | 80.0%以上 | × |
| | | 地域の医療提供体制等への働きかけや医療保険制度に係る意見発信 | 実施 | 実施済 | ○ | 実施 | × |
| | | 一般競争入札に占める一者応札の割合 | 20%以下 | 16.7% | ○ | 20%以下 | ○ |

令和4年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

| 1. 基盤的保険者機能関係 | | 主な取り組み内容等 | 今後の課題と対策 | | | | | |
|---------------|--|---|---|-----------------|-------|------|-----|------|
| 業務グループ | (1) | サービス水準の向上 <ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により傷病手当金申請が増加する中、サービススタンダード申請書（全支部共通の、受付から10営業日以内に振込までを完了させる給付金）について、日々の進捗管理を徹底し目標の100%を達成した。 ■お客様の利便性向上と新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべての届書・申請書の郵送提出が可能な旨をホームページや各種広報媒体を活用し広報した。また、電話相談対応時においても郵送による申請をしていただくように協力を求めた。しかし、健康保険証や限度額適用認定証等の交付を急がれる方や各種給付金の支給を急がれる方の窓口利用は一定数おられることで、目標は達成できなかった。 ■電話及び窓口の接遇に係るお客様満足度調査の実施結果から支部の課題を洗い出し、加入者サービス向上計画を更新し改善に取り組んだ。また、下半期は接遇スキル向上のための外部講師研修を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ■親切・丁寧な対応を心掛け、正確・迅速な事務処理を徹底する。 ■引き続き100%の達成を目指す。 ■ホームページ活用の案内及び申請書送付対応等、お客様の利便性向上に取組み郵送化率を向上させる。 ■接遇に係る外部講師研修を予定している。 ■令和5年1月のシステム刷新に伴い、申請書の旧様式から新様式への早期の切替を勧奨し、迅速で効率的な審査・支払いを実現する。 | | | | | |
| | | | KPI | サービススタンダードの達成状況 | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 |
| | | | | | 100% | 100% | ○ | 100% |
| | | | KPI | 現金給付等の申請に係る郵送化率 | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 |
| | | 95.5%以上 | 92.2% | × | 96%以上 | | | |
| (2) | 限度額適用認定証の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ■協力医療機関の窓口申請書を設置し、限度額証の利用を促進することで、加入者サービスの向上を図った。 ■有床施設以外の選定医療機関（眼科・産科）の窓口申請書設置の協力依頼を行った。 ■支部広報誌やホームページ、メールマガジンなどによる広報を定期的実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ■引き続き、医療機関に対し申請書の窓口設置の協力依頼とオンライン資格確認の利用を推進する。 ■マイナンバーカードの保険証利用について周知・広報し、利用登録の促進に繋げる。 | | | | | | |

令和4年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

| 1. 基盤的保険者機能関係 | | 主な取り組み内容等 | 今後の課題と対策 | | | |
|-------------------|--|--|---|------|---------|------|
| 業務グループ | (3) 現金給付の適正化の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ■不正請求が疑われる傷病手当金及び出産手当金の事後調査を実施し、不正請求の防止に努めた。 ■海外出産に係る出産育児一時金等の支給事務の一層の適正化に向けて、海外出産の事実確認を徹底している。 ■傷病手当金との併給調整について、障害年金等は月次で進捗管理を徹底し、労災休業補償給付は労働基準監督署と連携し、適正化に努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ■引き続き不正事案については、立入調査など厳格に対応する。 ■引き続き海外出産一時金に関しては、厚労省通知、本部手順に沿って厳格に事実確認を徹底する。 ■引き続き障害年金等及び労災休業補償給付について、併給調整の管理を徹底する。 ■あはき（鍼灸・あんまマッサージ）療養費について、過去2年間に、月16日以上以上の施術が頻回確認できる患者の、施術担当者に対し、治療計画を求める。 | | | |
| | (4) 柔道整復施術療養費等における文書照会の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ■多部位頻回施術の患者に対する文書照会を毎月実施し、併せて、施術を受けるときのチラシを同封し制度周知を図っている。 ■請求件数は前年度より微増となるも、多部位頻回施術の割合は減少し目標を達成した。 | <ul style="list-style-type: none"> ■引き続き多部位頻回施術の患者に対する文書照会を実施する。 | | | |
| | KPI | 柔整の申請に占める、3部位以上、かつ月15日以上での施術申請の割合 | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 |
| | | 0.96%以下 | 0.93% | ○ | 0.93%以下 | |
| (5) 被扶養者資格の再確認の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> ■本部スケジュールに基づき、事前の関係団体等への協力依頼を実施した。 ■未送達事業所への住所調査を行い再送達を迅速に実施した。 ■本部の文書による一次催告後に支部からの二次催告を計画的に実施したことで、提出件数の増加に繋がり目標を達成した。 | <ul style="list-style-type: none"> ■スケジュール管理を徹底し、目標達成の見込みが厳しいと判断した場合は、早期の支部独自動奨を実施する。 | | | | |
| KPI | 被扶養者資格の確認対象事業所からの提出率 | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 | |
| | | 93.4%以上 | 94.4% | ○ | 94.0%以上 | |

令和4年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

| 1. 基盤的保険者機能関係 | | 主な取り組み内容等 | 今後の課題と対策 | | | | |
|---------------|--------------------------------------|--|---|----------|----------|-----|----------|
| レセプトグループ | (6) 効果的なレセプト点検の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ■自動点検システム等を活用した効率的な点検を実施した。また、システムのメンテナンスを確実にし、常に新しい情報を取り入れた点検を行った。 ■他支部や自支部の査定事例の検証を行い、勉強会で事例を発表することにより全体に対して情報共有を図った。また、外部講師を招いた研修を実施し、新たな点検ポイントや着眼点を習得して、点検スキルの向上を図った。 ■支払基金との打合せを密にし、支払基金の原審査（一次点検）の情報を得ることにより、支払基金と協会けんぽの点検の役割分担を行い効率的な点検を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ■支払基金によるAI審査や支払基金の審査部門の集約（R4.10月～）などの状況を見極め対応する。 ■本部が提供する各種情報を咀嚼し、点検員のスキルアップに繋げる。 ■近隣支部とも協力し、効果的な研修を実施する。 | | | | |
| | | KPI | 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率 | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 |
| | | | | 0.407%以上 | 0.390% | × | 0.390%以上 |
| | | KPI | 再審査レセプト1件当たりの査定額 | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 |
| | | 7,215円以上 | 6,960円 | × | 6,960円以上 | | |
| レセプトグループ | (7) 返納金債権の発生防止のための保険証回収強化及び債権回収業務の推進 | <p>(保険証回収)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■日本年金機構で資格喪失処理を行った後、10営業日以内に第1回目催告を実施し、更に未回収者には第1回目催告後10営業日以内に第2回目催告を実施した。また、回収不能届により電話番号が判明している者に対しては、早期に電話催告を実施した。 <p>(債権回収)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■フローに基づく催告を遅滞なく確実に実施し、保険者間調整を積極的に活用した。 ■複数回の催告にも応じない債務者に対しては、弁護士名による催告を実施した。また、法的手続き（支払督促）を活用し、最終的な納付に繋がった。 | <p>(保険証回収)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事務説明会等での早期回収呼びかけを行う。また、保険証の未回収者が多い事業所に対して働きかけを行う。 <p>(債権回収)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■高額債権については、法的手続きを積極的に実施する。一方、裁判で強制執行可能となった債務者に対し、財産調査に苦慮している。 | | | | |
| | | KPI | 年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率 | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 |
| | | | | 87.45%以上 | 90.39% | ○ | 90.39%以上 |
| | | KPI | 返納金債権（資格喪失後受診に限る。）の回収率 | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 |
| | | 57.89%以上 | 49.23% | × | 49.23%以上 | | |

令和4年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

| 2. 戦略的保険者機能関係 | | 主な取り組み内容等 | 今後の課題と対策 | | | | | |
|---------------|--------------|---|---|--------------|---------|-------|-----|---------|
| 保健グループ | (1) | <p>特定健診実施率・事業者健診データ取得率の向上</p> <p>〈生活習慣病予防健診対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ■健診機関不足地域や加入者の多い地域を中心に集団健診を設定。(6市3町、17回実施) ■集団健診設定地域の近隣事業所3,018件、被保険者26,545名へ勸奨DMを送付。 <p>〈事業者健診データ取得対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業者健診データ取得に関する業務を外部委託にて実施。 (外部委託によるデータ取得件数4,124件、前年度4,995件) <p>〈被扶養者の特定健診対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ■協会主催集団健診の実施。(24回実施、前年度28回) ■付加価値を付与した女性向け集団健診の実施。(2回実施、計641名受診) ■協会主催集団健診と自治体がん検診との合同実施。(和歌山市、海南市、橋本市) | <p>〈生活習慣病予防健診対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ■令和5年度から実施される自己負担額の軽減を実施率向上に結び付ける。 <p>〈事業者健診データ取得対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小規模事業所(対象者4名以上)にも勸奨を実施。 ■勸奨を続けてもデータ提供を断られ続けている事業所(岩盤層)に対する取り組み。 <p>〈被扶養者の特定健診対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ■付加価値を付与した女性向け集団健診の拡大。 | | | | | |
| | | | KPI | 生活習慣病予防健診受診率 | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 |
| | | | | | 58.4%以上 | 52.2% | × | 61.3%以上 |
| | | | KPI | 事業者健診データ取得率 | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 |
| | | 12.9%以上 | 14.9% | ○ | 14.0%以上 | | | |
| KPI | 被扶養者の特定健診受診率 | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 | | | |
| | | 31.0%以上 | 25.2% | × | 31.0%以上 | | | |

令和4年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

| 2. 戦略的保険者機能関係 | | 主な取り組み内容等 | 今後の課題と対策 | | | | | |
|---------------|---|---|--|-----------------|---------|-------|---------|---------|
| 保健グループ | (2) | 特定保健指導の実施率及び質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ■ 特定保健指導実施件数 被保険者 2,572件（前年度 2,681件） 被扶養者 177件（前年度 215件） 〈被保険者の特定保健指導対策〉 ■ 特定保健指導外部委託の推進 健診機関・民間業者による保健指導実施：評価658件（前年度464件） 民間業者による保健指導はICT遠隔面談・エバグリーン保険調剤薬局での特定保健指導実施 ■ 支部が初回面談を実施した者の継続支援を民間業者へ委託。評価1823件（前年度2095件） 〈被扶養者の特定保健指導対策〉 ■ 協会主催の集団健診で、健診当日の特定保健指導を実施できる会場を拡大。 26会場で実施。（380人初回面談実施） ■ 「ヘルスアップ相談会」を開催（事業所での面談ができなかった方へ個人勧奨を実施） 歯科検診・バジチェック測定・特定保健指導を実施 参加者 8/28：12名 9/25：14名 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 健診当日の特定保健指導実施機関の拡大をする。 ■ 特定保健指導実施事業所の開拓をする。 ■ 事業所での保健指導実施が難しい人への遠隔面談や保険調剤薬局での保健指導などを案内し利用機会の拡大を図る。 | | | | | |
| | | | KPI | 被保険者の特定保健指導の実施率 | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 |
| | | | | | 30.2%以上 | 17.6% | × | 38.0%以上 |
| | | | KPI | 被扶養者の特定保健指導の実施率 | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 |
| | | 31.1%以上 | 32.4% | ○ | 33.8%以上 | | | |
| (3) | 重症化予防対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ■ 高血圧・糖尿病未受診者への文書勧奨・電話勧奨・訪問による受診勧奨を実施。 二次勧奨：（文書：2,295件 電話：142件 面談：111件） ■ LDLコレステロール高値者に対する受診勧奨用として、企画競争による案内リーフレットの作成。 ■ 腎機能の疑いのある方への専門医への受診勧奨および保健指導の実施。 （受診勧奨 77件 保健指導 0名） | <ul style="list-style-type: none"> ■ 血圧、血糖高値者に対する受診勧奨用案内リーフレットの企画 | | | | | | |
| | | KPI | 受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合 | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 | |
| | | | | 12.4%以上 | 10.3% | × | 13.1%以上 | |

令和4年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

| 2. 戦略的保険者機能関係 | | 主な取り組み内容等 | 今後の課題と対策 | | | | |
|------------------|------------------------------|---|---|----------|--------|-----|----------|
| 企画 総務 グループ | (4) コラボヘルスの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ■健康宣言事業「わかやま健康づくりチャレンジ運動」を和歌山県と共同実施。(新規登録事業所114社) ■「わかやま健康づくりチャレンジ運動」登録勸奨を実施。(文書5,898件) ■登録事業所に対するサポートの実施。(健康講座15件、血管年齢測定器34件、Inbody・出前講座申し込み34件) ■健康経営優良法人認定に対するフォローの実施 87社→86社認定(協会加入事業所) ■オンラインによる健康経営セミナーの開催(7月7日、9月12日) ■生保・損保会社2社と健康経営推進のための連携協定を締結。(累計6社) | <ul style="list-style-type: none"> ■健康経営優良法人認定数の拡大 ■健康宣言後のフォローアップの強化(サポートメニューの充実)を図る。 | | | | |
| | | KPI | 健康宣言事業所数 | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 |
| | | | | 760事業所以上 | 748事業所 | × | 860事業所以上 |
| 企画 総務 グループ | (5) 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進 | <ul style="list-style-type: none"> ■広報計画に基づいた各種媒体(HP・メルマガ・県広報誌・地域生活情報誌等)を利用した広報を行った。 ■健康保険委員の委嘱拡大のため、登録勸奨を実施した。(2,185件) ■永年の活動や功績に対して感謝の意を表すため、健康保険委員表彰(厚生労働大臣表彰1名、理事長表彰4名、支部長表彰13名)を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ■健康保険委員数を増加し各事業所への協会関係事業の理解を向上を目指す。 ■小規模事業所への健康保険委員登録勸奨。 ■加入者理解率の向上、ホームページ、メルマガジンの閲覧者の増加を目指す。 | | | | |
| | | KPI | 全被保険者数に占める健保委員委嘱事業所の被保険者数の割合 | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 |
| | | | | 61.6%以上 | 62.7% | ○ | 62.7%以上 |

令和4年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

| 2. 戦略的保険者機能関係 | | 主な取り組み内容等 | 今後の課題と対策 | | | | | | |
|------------------------------------|--|---|--|------|------|------|---------|----------------|----|
| 企画 総務 グループ | (6) ジェネリック医薬品の使用促進 | <ul style="list-style-type: none"> ■加入者へジェネリック医薬品軽減額通知を送付 (R4.8[18,918件]、R5.2[16,536件]) ■医療機関、薬局に対する情報提供ツールによる自院のジェネリック利用状況通知の送付。 ■和歌山県医薬品安心安全使用懇話会で取組を発表 (3月) ■路線バスおよび公用車を活用した広報を実施。(ラッピング、車内放送) ■後発医薬品リストを調剤薬局に提供およびホームページで公開。 ■ジェネリック医薬品の日(12月22日)に向け、計66本のTVCMを実施。また、12月22日当日にローカル番組内で支部長出演により使用促進を啓発した。 ■ジェネリック医薬品の日に向け、計42本のラジオCMを実施。また、ラジオ放送の生番組内でジェネリックの宣伝を3日間実施。 ■JR和歌山駅改札出口でのデジタルサイネージ広告の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ■加入者に対する効果的な広報の実施。 ■医療機関、薬局に対する、訪問説明など直接的な働きかけの実施。 ■県業務課、県薬剤師会他保険者との連携の推進。 | | | | | | |
| | | <p>KPI</p> <p>ジェネリック医薬品使用割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R4目標</th> <th>R4実績</th> <th>達成度</th> <th>R5目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>78.5%以上</td> <td>78.3% (R5.1現在)</td> <td>×</td> <td>80.0%以上</td> </tr> </tbody> </table> | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 | 78.5%以上 | 78.3% (R5.1現在) | × |
| | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 | | | | | |
| 78.5%以上 | 78.3% (R5.1現在) | × | 80.0%以上 | | | | | | |
| (7) インセンティブ制度の着実な実施及び広報 | <ul style="list-style-type: none"> ■HP、メルマガ「協会けんぽわかやま通信」等での和歌山支部の実績を踏まえた広報を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ■事業所アンケートの結果、理解率が低いため、加入者にとって分かりやすい制度の周知を図る。 | | | | | | | |
| (8) 地域の医療提供体制等への働きかけや医療保険制度に係る意見発信 | <ul style="list-style-type: none"> ■地域医療構想の実現に向けて協議の行われる「地域医療構想調整会議」において、県内7医療圏中、6医療圏に和歌山支部から委員を選出し、参画し意見発信を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ■医療費情報等を分析研究し、効果的な意見発信を行えるよう体制を整備する | | | | | | | |
| | <p>KPI</p> <p>他の被用者保険者との連携を含めた、地域医療構想調整会議での医療データ等を活用した意見発信の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R4目標</th> <th>R4実績</th> <th>達成度</th> <th>R5目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施</td> <td>実施済</td> <td>○</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table> | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 | 実施 | 実施済 | ○ | 実施 |
| R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 | | | | | | |
| 実施 | 実施済 | ○ | 実施 | | | | | | |

令和4年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

| 3. 組織体制関係 | | 主な取り組み内容等 | 今後の課題と対策 | | | |
|------------------|----------------------|---|--|-------|-----|-------|
| 企画 総務 グループ | (1) 人事制度の適正な運用 | <ul style="list-style-type: none"> ■業務の効率化等の推進により、標準人員に基づく人員配置を適正に実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ■今後も引き続き、業務効率を踏まえた人員配置を適切に実施する。 | | | |
| | (2) OJTを中心とした人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ■各グループ長がOJT指針を作成し、グループごとの課題に応じた人材育成を実施した。 ■お客様満足度調査結果の内容を分析し、電話応対について独自研修を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ■引き続き、OJT、集合研修、自己啓発により、必要とされる知識を習得できる機会を提供する。 | | | |
| | (3) 支部業績評価の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ■各グループが支部業績向上に向け各事業について積極的に取り組みを行った。 令和4年度業績評価14位（令和3年度13位） | <ul style="list-style-type: none"> ■業績評価結果を検証し支部課題への対策を実施する。 | | | |
| | (4) 内部統制の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ■コンプライアンス委員会の定期開催（2回）。 ■支部コンプライアンス研修の実施。 ■本部コンプライアンス通信による啓発。 ■災害リスクに対しては、安否確認システム、支部初動対応訓練及びビルにおける避難訓練を実施した。 ■個人情報保護、情報セキュリティに対しては、毎月管理職による端末チェック、4半期ごとの自主点検及び全職員への研修を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ■引き続き、研修等を通じて、コンプライアンス基本方針、行動規範の理解及び浸透させるなどの意識醸成を図る。 ■定期的な訓練及び職員向けの啓発を実施し、危機管理にかかる習熟度を維持していく。 | | | |
| | (5) 費用対効果を踏まえたコスト削減等 | <ul style="list-style-type: none"> ■随意契約にあって、100万円を超える案件については、調達審査委員会で調達内容、方法等を審議し、調達の適正化を図った。 ■一般競争入札案件6件のうち1者入札は1件であった。 ■その他少額案件についても、見積競争公告を実施し、複数社からの見積もりを徴取しコスト削減に努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ■支部経費節減マニュアルを改修しコスト意識を高める。 | | | |
| KPI | | 一般競争入札に占める一者応札案件の割合 | R4目標 | R4実績 | 達成度 | R5目標 |
| | | | 20%以下 | 16.7% | ○ | 20%以下 |